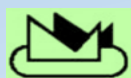


今年、創立62年目を迎える地元の京浜協同劇団です。夏の「演劇まつり・冒険者たち」ではコロナ禍の中、一三〇〇名に観劇頂きました。ありがとうございます。秋は、名作二作品をお届けする企画に致しました。鋭い社会風刺で知られる飯沢匡の名作『濯ぎ川』は、一九五一年に発表された心温まる狂言仕立ての喜劇。シエンダー平等を彷彿とさせるお話。

もう一つ、明治の文豪、森鷗外の『高瀬舟』は、中学の教科書にも採用され、広く知られた短編です。貧困・欲望・安楽死など、今日的な課題が...中身の濃い珠玉の二作品はともに「川の流れ」が背景。笑いと感動。セットでお楽しみいただければ幸いです。コロナの不安からチョット離れて、演劇の楽しいひと時をお過ごし頂ければこれ程嬉しいことはありません。稽古場を小劇場にして皆様のおいでを待ちたいします。

— 出演者一同 —



京浜協同劇団 第95回公演／制作ニュース

コロナ時代に敢えて演劇を！ 少人数の演目ですが、心を合わせ稽古の真っ最中。今年も、また別の顔の京浜協同劇団をご覧頂きます。ご期待下さい！



珠玉の名作・二本立て

●意欲的な若手俳優、小山貴司。 ●篠崎旗江のデビュー。

今秋、京浜協同劇団の舞台に注目！

森鷗外・作

高瀬舟



京都の罪人を遠島に送るために高瀬川を下る舟に、弟を殺した喜助という男が乗せられた。護送役の同心、羽田庄兵衛は、喜助がいかにも晴れやかな顔をしている事を不審に思い、訳を尋ねると、喜助は事件の悲しい内幕を語り始める。安楽死や貧困問題は現代に通じるテーマ。百年以上も前に見事に描いた名作。

濯ぎ川

飯沢匡・作

姑と婿の面白い場面を紹介

姑 婿殿？ 婿殿はどれにおられる、これ婿！
男 えへっへ 姑殿、これにおりまするが...
姑 それにおじゃったか！
いるならば居ると早う返事をしないか
男 ハイハイ、ハイハイ、ハイ
姑 イヤ、そなたはまだ濯ぎ物をしていたのか？
男 いかにもまだ致しておりますが
姑 ああ婿の空かぬ男じゃ、今日は風呂を焚くに
よって水を汲んでおけと申したではないか。



男 承ってござるが、おびたしい小袖でまだ終わらぬのでござるわ。
姑 なんと、そなたはこの親に向かって口返答をしたな！
男 ぶるる、いやいやいやいや、そのようなことは致しません。
姑 どうだか...この間から、甘やかしておけばどうしようもない。
男 待つて下され、すぐに役にたちますゆえ
姑 役に立つ？ それはまことか
男 まことでございます。
姑 真実か？ 男 はい。
姑 うん、それならば又、じきに戻ってくるほどに、それまでに濯ぎ物を終うて、水を汲んでおかれや。
男 心得ました。



姑 せぬにおいては、今晚のメシは抜きます。さてもさても、虚けた男でござる。世に男も数多いけれどあのような虚けた男を、娘の婿に迎えねばならぬに、はああ～ 南無阿弥陀仏。南無阿弥陀仏。

会場 = スペース京浜

公演日程	2021年 11月				
	20	21	23	27	28
	(土)	(日)	(火・祭)	(土)	(日)
11時	●A	●B	●A	●B	●A
15時	●B	●A	●B	●A	●B

(注)「濯ぎ川」はWキャスト(A・B)

STAFF

- ◇台本・演出=護柔 一
- ◇照明.....前川裕幸
- ◇音楽.....安達元彦
- ◇大道具.....伊藤 厚 大谷敏行
- ◇小道具.....護柔 一
- ◇音響.....河村はじめ
- ◇衣裳.....劇団衣裳部
- ◇舞台監督.....藤井康雄
- *****
- ◇制作.....和田庸子 城谷 護

完全予約制

お申し込み順にチケットをお送りします
お早目にご予約下さい。(限定40席)

制作ニュース

京浜協同劇団／発行：2021年10月

予約受付中 電 044-511-4951
Fax 044-533-6694

※ コロナ対策は万全です。毎回場内の換気、座席は密を避けて配置、開演前の消毒により、安心してご観劇していただけます。